

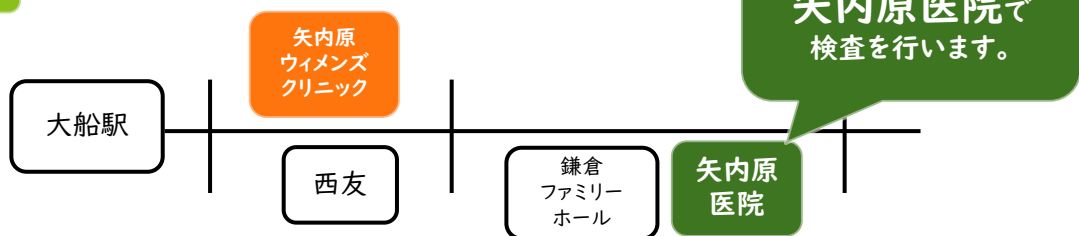
子宮卵管造影検査について

目的 卵管の疎通性、子宮内の状態を調べる検査です。

時期 月経終了直後から排卵前まで（月経7～10日目）

- 月経中（出血があるとき）は検査できません。
- 検査日の1ヶ月以内に造影剤を使用した検査を受けた方は、検査できません。

場所 検査は矢内原医院で行います。



予約 完全予約制です。

予約は矢内原ウィメンズクリニックで医師と確認しながらお取りします。
予め、以下の検査日時から予定の確認をお願いします。

日時：月～土曜日（月曜日は午前中のみ）

午前 9:15、10:15、11:15 午後 14:15、15:15、16:15

所要時間：30分～1時間程度（来院～会計まで1時間～1時間半程度）

- 予約日時の変更、検査当日のキャンセルについて
予約日時の変更は、矢内原ウィメンズクリニック(0467-50-0112)へ
検査当日のキャンセルは、矢内原医院(0467-44-1188)へご連絡ください。
予約日時の変更や検査当日にキャンセルをされる場合は、お早めにご連絡ください。

持ち物 保険証、昼用ナプキン1枚、クリニックからの紹介状、
矢内原医院に受診歴のある方は、矢内原医院の診察券をお持ちください。

検査時、下着をはずしてお部屋を移動しますので、長めでゆったりとしたスカートで来院してください。

注意点

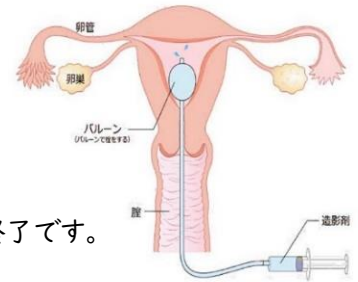
- 午前中の検査は朝食、午後の検査は昼食を摂らずに来院してください。
水分は少量であれば摂取していただいても問題ありません。
- 検査をスムーズに行うため、検査1時間前から尿を溜めて来院してください。
- お子様連れ、ご夫婦での来院はできません。

方法

- ① 膣から子宮の入り口に細いチューブ(カテーテル)を挿入します。
- ② カテーテルから造影剤を注入します。
- ③ 経過を追って撮影します。

造影剤がどこまで流れ込むかで診断をします。

卵管に問題がなければ、お腹の中に造影剤が流れ出て、検査は終了です。



卵管検査は“痛い”というイメージが定着していますが、検査自体が痛いわけではありません。卵管の通りが悪い場合に痛いことがあり、検査過程で痛みが増強する時は検査を中止します。

副作用 合併症

卵管造影検査に用いるのはイソビストという水溶性の造影剤です。

親水性が高い造影剤で97%は尿や膣から排出され、残りは体内に吸収された後速やかに排泄されます。

この造影剤の承認時及び使用成績調査での調査症例3548例中206例(5.8%)に、臨床検査値異常を含む副作用が認められています。

主な副作用は、造影剤注入中の腹痛109件(3.1%)、注入後の腹痛56件(1.6%)、嘔気28件(0.8%)、発熱22件(0.6%)、発疹15件(0.4%)などでした。

造影剤によるショック、アレルギーも可能性として起こり得ますが、事前に検査することはできません。発症した場合には適切に対処いたします。

以下の方は禁忌になります。

- ヨードまたはヨード造影剤に過敏症の既往がある方
- 妊娠または妊娠している可能性がある方
- 骨盤内に急性炎症疾患のある方

費用

15,000円程度

- 子宮が大きく、造影剤の量が通常以上必要な場合は24,000円程かかる場合もあります。
- 保険適応ではありますが、カテーテル等の一部保険適応外も含まれます。
- 土曜日午後は時間外加算がかかります。

ご不明な点がございましたら、医師または看護師にご相談ください。

医療法人社団守巧会 矢内原ウィメンズクリニック

〒247-0056

神奈川県鎌倉市大船1-26-29-4F

TEL:0467-50-0112 FAX:0467-50-0113

<https://www.yanaihara.jp/> Email info@yanaihara.jp